

ふれあい

2015

12

No.345

牛久愛和総合病院 広報誌



「当院のイチョウ並木」撮影：総務課 森 友照

『退院調整看護師のしごと』

看護師長 増田 直子



「退院調整看護師」？あまり聞きなれない言葉だと思いますが、退院調整看護師のしごとにについて、紹介させていただきま

す。

2006年の医療制度改革で、自己完結型医療から地域完結型医療の実現が打ち出され、患者さんが安心して退院できる仕組みづくりが病院に求められてきました。このような背景から、病院では何をすればよいのか、いろんな病院で地域連携部門や退院調整部門の設置がなされました。

当院では、6月16日より医療相談室の中に看護師1名が配属となりました。退院調整看護師は、入院患者さんが治療終了後、住み慣れた地域でその人らしい生活を送ることができるよう、患者さんやご家族の希望や考え

を聞きながら、支援することを心がけております。その中で、介護保険制度の利用や社会資源の活用によりご自宅に移行できる患者さんも多くおります。また、退院調整看護師は、個人で活動をしているわけではありません。医療ソーシャルワーカー や、院内のスタッフ（医師、病棟の看護師、リハビリストaff、薬剤師、栄養士、事務職員）と一緒に協働して活動しております。

突然の入院という環境における患者さんやご家族は、動揺したり、不安や悩みを抱えたりすることも多いと思います。そういう状況をいち早くキャッチし、医療者間でのカンファレンスを行い、患者さんが入院により抱える不安などの情報を共有します。その上で、患者さんやご家族のご希望を伺いながら、安心して退院後の生活が送れるよう支援の方向性を決定していきます。病院には患者さんと関わる専門的な役割を担うさまざまなスタッフがおります。そのスタッフとチームを組み、それぞれの立場から患者さんに



必要な支援を考え、意見交換しながら検討していきます。特に重要なことは、患者さんの状態により、優先的に使える制度は何か考え、地域でのサービスを的確に利用することだと思いまます。そして、患者さんご家族を中心、訪問看護師や往診をしてくれる地域の先生、ケアマネージャーなど、地域のサポートの方々と支援体制を整えていきます。時には退院に向けて自宅改修を行うこともあります。このように一人の患者さんが住み慣れた地域でその人らしい生活が送れるよう、医療スタッフがチームを組み、地域と連携を取ります。その調整役が退院調整看護師の大きな役割だと思っております。今後も退院支援と調整の充実を図つてまいりたいと思います。

ふれあい

ここが知りたい!

Q & A フォーナ

◎薬とサプリメントの違いは

何ですか?

A 誤った認識をされやすいサプリメントですが、本質としては食事で不足する成分を簡単に摂るというものです。形は薬に似ていますが、食事の延長線と捉えて下さい。あくまで体を整えるという目的であって、治療薬に取つて代わるものではありません。同様に健康食品も治療薬にはなりません。

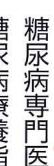
サプリメントと薬の大きな違いとして、様々な臨床試験で実際に検証されているかどうかが挙げられます。サプリメントや健康食品では実際に試験を行っていないものや、行つても質が乏しいものが大部分とされています。例えばコレーゲンやグルコサミンを含むサプリメントは科学的な根拠が乏しいとされるのが現状です。また、成分そのものに効果は認められていても、医療用と比べると含

(薬剤センター・秋場孝則)

有量が少なく、吸収率についても記載がないものもあります。例えば中性脂肪を下げるサプリメント等は製造元によつて成分量が異なります。余談となります。DHAに頭を良くするという科学的根拠は現在ありません。

D M カフエ

糖尿病専門医



佐藤聰子

河邊聰子

幸子

11月1日付

●栄養課

管理栄養士 松本千尋

看護助手 中嶋美咲

看護部 佐藤聰子

入職者



11月1日付

●栄養課

管理栄養士 松本千尋

看護助手 中嶋美咲

看護部 佐藤聰子

第55回 生活習慣病教室

テーマ

慢性腎臓病と生活習慣

正月太り原因の一つ、ついつい

食べ過ぎてしまうお餅。ご飯100g

(婦人用の茶碗1膳)168kcalと比較し、

お餅100g(市販の切餅2個)では

お餅2個でも大満足し、おせち料理



お餅2個でも大満足し、おせち料理

正月太り原因の一つ、ついつい

お餅2個でも大満足し、おせち料理



お餅2個でも大満足し、おせち料理



お餅2個でも大満足し、おせち料理



お餅2個でも大満足し、おせち料理



お餅2個でも大満足し、おせち料理



お餅2個でも大満足し、おせち料理



たから時
「楽しかつ
わ。」

（春秋園人所スタッフ一同）

春秋園だより

師走となり、街は慌ただしく賑やかさを増してきたように感じられます。そのような中、春秋園の入所（2階、3階、4階）合同で「買い物ツアーハイオンへ外出をしてきました。イオンに到着後は利用者様各自の希望する品物を求め、スタッフをお供に個別行動。文房具、衣類、お裁縫道具など、皆様それぞれ違う物を買わっていました。お目当てのもの以外にも、途中にたくさん並んだお店をウインドウショッピングしながらの周遊でした。

帰りの車内で皆様からの感想を伺うと、「いろいろなお店があつて楽しかった。若ければ着て映画を観に行きたい」と「いい服がたくさんあつた。若くして映画を見たかった」とありました。「店の人への対応が気持ち良かった」と「店の人の対応が気持ち良かった。若くして映画を見たかった」と「いい服があつた」という感想でした。



看護部 病棟紹介

B3階 看護次長 金谷 よりこ

街角ではあちらこちらでイルミネーションが輝き、師走の慌しい気持ちをホッとさせてもらえるスリットが見えます。病院内でもクリスマスツリーが飾られ、クリスマスデコレーションがされている病棟もあります。厳しい冬を迎え、師走の慌しい時期になりますが、厳しい冬をちょっと楽しむ時期になりました。

B3階病棟でも、闘病中の患者さんに憩いをと思い、スタッフステーションをちょっぴりデコレーションしています。

B3階病棟は、急性期混合病棟で、内科、外科系、小児科など様々な病状の患者さんがご入院されています。また、夜間入院病棟としての役割があり、スタッフ一同、緊急入院される患者さんの苦痛緩和、回復にむけて患者さんの要望に添つた、安全で安楽な、きめ細やかな看護を提供するため日々がんばっています。また、様々な健康問題・社会的問題に対して適切な対応と、ご本人・ご家族の不安を和らげることができるように患者さんに寄り添い、落ち着いた看護が提供できるように努めています。

今日は平素のレクリエーションの様子を見ていたいたり、リハビリ体操体験、おやつやペースト食、ミニチ食などの試食もしていただきました。

このような行事を通してご家族、利用者様から普段とはまた違ったお声を頂戴し、それを取り入れる事は、ケアの充実のためには不可欠なものであります。

（春秋園人所スタッフ一同）



Dr.趣味リレー

脳神経外科 成合 康彦

僕の現在の趣味はラグビー観戦です。

僕自身も大学時代ラグビー部で毎日汗を流して練習していました。

その時からラグビーの魅力に取り憑かれています。ラグビーの魅力は、やはり皆で体を張り、同じ苦しさや喜びを共有できるということがあります。

僕は、やはり精神的にも肉体的にも痛みや苦しさを伴うスポーツですが達成感や充実感は計り知れません。

言つて精神的にも肉体的にも痛みや苦しさを伴うスポーツですが達成感や充実感は計り知れません。

男臭い感じですがそういう雰囲気が今でも心地良いです。

ちなみに僕は関西の同志社大学のファンで今でも応援しています。社会人のラグビーとは違つてどこか完成しきつていらないところが魅力です。

研修医の時は、秋・冬シーズンになると頻繁に同志社大学の公式戦を見に行ってました。実際にトップレベルの選手のプレーを生で見るとかなり迫力があります。

この前までラグビーW杯予選があり、テレビで見て興味が湧いた人も多いと思います。

全国どこでもラグビー場があるので、みなさんもぜひ見に行つて下さい。

外部講師講習会11/13
11/18日時・平成27年11月13日
平成27年11月18日

テーマ・「3・0テスラMRI装

置の安全性について

講師・

株)フイリップスエレクト

ロニクスジャパン

MRアプリケーション

スペシャリスト

桑野 真由美 氏

MRI装置の更新に伴い、装

置の安全性に対する講習会を、

全職員を対象として2回に亘り

実施致しました。

MRI装置を安全に運用して

いく上で知識を、職員が再認

識する事ができ、有意義な講習

会となりました。

(医療安全対策検討委員会・沖津

医療ガス講習会

10/19

11月19日、講師に岩谷産業大

岡氏をお招きし、「医療ガスの

安全な取扱い方」について、講

習会を行いました。今までの医

療ガス講習会の中では、過去最

高の参加人数となりました。医

療ガスは、正しい取扱いをしな

ままでの、医療ガスの正しい管

編集だより
早いもので今年も残すところあとわずかになりました。皆様にとってはどうな1年でしたか?年の瀬で気忙しくなりますが、体調に気をつけて良いお年をお迎え下さい。(A・S)



11月13日(金)、保育園近くの鹿島神社へ七五三参りに行きました。学童、幼児合わせて45名で神社に向かいました。学童が小さい子と手をつなぎ、紅葉した葉っぱや、イチョウなど秋を感じながらゆっくり歩いて行きました。

神社では、年長組が手本となり、手を洗い清め、一人一人手を合わせて、お参りをしました。その後、すぐ元気に育つようにと千歳餡を食べました。

(柴田)

理を改めて認識ができた講習会となりました。

七五三

(医療ガス委員会)

11/13

病院理念 我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床 (一般391床 医療療養型55床
地域包括ケア43床)

施設

敷地 59,449.60m² 駐車場 1151台



日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

関連施設

総合健診センター	Tel 029-873-4334
健康増進施設 スポーツリラックス	Tel 029-874-8791
介護老人保健施設 春秋園	Tel 029-870-3100

診療科目**【一般外来】**

総合診療科(内科)、消化器内科、糖尿病・代謝内科、循環器科、呼吸器内科、血液内科、腎臓内科、神経内科、リウマチ科、小児科、総合外科、救急科、甲状腺・内分泌外科、乳腺科、消化器外科、内視鏡科、形成外科、整形外科、産婦人科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、歯科口腔外科、透析外来(シャント外来)、禁煙外来

【専門外来】

整形専門(股関節、脊椎、スポーツ、肩関節、膝関節)
小児科(小児循環器、小児心理)
循環器(心臓血管外科)
皮膚科(レーザー)

